

第21回 キャンパスベンチャーグランプリ 東京

結果報告書



キャンパスベンチャーグランプリ東京実行委員会

ごあいさつ

「キャンパスベンチャーグランプリ東京」は、次世代の産業界を担う人材の発掘と育成を目的として毎年開催しており、これまでも多くの学生の皆さんに、独創性や新規性、市場性、社会性にあふれるプランを提案いただきました。

第21回を迎えた今回は、101チームから応募がありました。仮眠を支援するユニークなロボット製作や、宇宙探査を目標に農業や建設分野でも活躍できるローバ（探査車）のモジュール開発、介護従事者への支援、ハードのみで直感的にプログラミングを学べる教材制作、抹茶や御朱印といった日本の伝統文化を海外に発信する提案など、幅広い分野での課題を解決するプランが集まりました。現代社会が直面する課題の解決や、若者ならではの斬新な視点に基づくサービスなど、熱い思いを抱いたプランが多く、非常に心強く思っています。

昨年、わが国経済は、歴史的な円安やコストプッシュ型の物価上昇が続く中、日経平均株価が史上初の4万円台を記録し、日本銀行もマイナス金利を解除するなど大きな転換点を迎えました。33年ぶりの高水準の賃上げ率など、物価と賃金の好循環に向けた大きな一歩を踏み出した年でもあり、今年はこの流れを持続可能なものにし、停滞から成長ステージへの移行を確実なものとしなくてはなりません。

そうした成長ステージに向けて大きく期待されているのが、ベンチャー企業であり若手起業家であります。新しい発想で社会課題等に取り組む皆さんの挑戦こそが、これからの地域経済を豊かにし、わが国の成長を切り拓いていくものと期待しております。

わが国ベンチャーの創出力を強化する一助となるよう、私たちは今後も本グランプリを通じて、独創性とチャレンジ精神にあふれる若者を応援して参ります。東京商工会議所でも高い障壁に挑み、高い理想を追求する中小企業への顕彰制度、「勇気ある経営大賞」を実施しておりますが、そこに新しく「スタートアップ部門」を設けました。引き続き創業・起業に関し、挑戦的な取り組みを伴走型で支援して参ります。

入賞された皆さんも、今回の経験を生かし、旺盛なベンチャー精神を発揮して、さまざまな分野で活躍されることを願っています。

最後に、惜しくも入賞を逃された皆さんの健闘をたたえつつ、ごあいさつとさせていただきます。



キャンパスベンチャーグランプリ東京実行委員会
実行委員長 小林 健

キャンパスベンチャーグランプリ東京について

キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）東京は、日本の次世代を担う若者の人材育成と新事業の創造を目的としたビジネスプランコンテストで、2004年にスタートしました。関東・甲信越・静岡県 of 大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校の学生を対象に、製品・技術・サービスに関して新規性のあるビジネスプランを募集し、優れた提案を表彰します。学生の起業に対する意識を高めるとともに、新たな経済成長の中核として期待される若手人材の育成に資するべく教育の観点から実施しています。CVGから巣立った起業家も活躍しています。

CVGは北海道、東北、東京、中部、大阪、中国、四国、九州の全国8地域で実施しており、各地域から選抜された学生が一堂に集う全国大会（翌年2月開催）で優秀な成績を収めた上位2組にそれぞれ「経済産業大臣賞」と「文部科学大臣賞」を贈ります。

主催：キャンパスベンチャーグランプリ東京実行委員会

共催：りそな銀行、日刊工業新聞社

後援：経済産業省関東経済産業局、関東商工会議所連合会、東京産業人クラブ、ベンチャーエンタープライズセンター（VEC）、中小企業基盤整備機構 関東本部、東京ニュービジネス協議会、コラボ産学官、クオインタムリープ、日本ベンチャー学会（順不同）

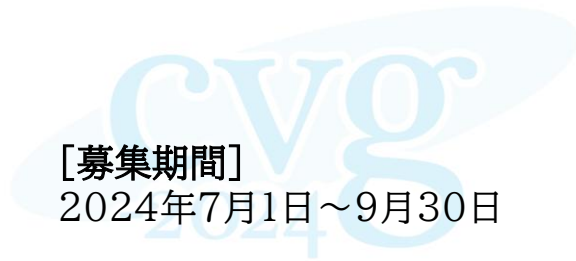
協賛：AGS、KPMG/あずさ監査法人、内田洋行、ストライク、日本MITベンチャーフォーラム、CIC Tokyo、ベンチャーカフェ東京、りそなグループ（順不同）

実行委員会

委員長	小林 健	東京商工会議所会頭
委員	佐合 達矢	経済産業省 関東経済産業局長
	伊藤 仁	東京商工会議所 専務理事
	岩永 省一	りそな銀行 代表取締役社長
	井水 治博	日刊工業新聞社 代表取締役社長

審査委員会・アドバイザー

委員長	各務 茂夫	東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授
特別委員	濱口 慎吾	経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課 課長
委員	阿部 博	有限責任 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部長 パートナー
	新井 正樹	りそな総合研究所株式会社 執行役員
	粟井 邦彦	AGS株式会社 常務執行役員 法人事業本部長
	市川 隆治	一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター 理事長
	上田 裕子	東京商工会議所 理事 中小企業部長
	鈴木 芳憲	株式会社ストライク 未来戦略室 室長
	田中 豊	アートグリーン株式会社 代表取締役社長
	田村 真理子	日本ベンチャー学会 事務局長
	冬野 健司	特定非営利活動法人 日本MITベンチャーフォーラム 理事
	井上 渉	日刊工業新聞社 取締役 メディア本部編集局長
アドバイザー	岡田 基幸	一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター 専務理事・センター長
	呉 雅俊	株式会社TNPパートナーズ 代表取締役社長
	伊藤 智久	特定非営利活動法人 日本MITベンチャーフォーラム 理事
	浜口 基周	有限責任 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 テクニカル・ディレクター
	森 滋哉	有限責任 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 シニアマネジャー
	須藤 章	有限責任 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 マネジャー
	堀川 翼	有限責任 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部 マネジャー
	河野 諒平	有限責任 あずさ監査法人 東京第1統括事業部 スタッフ



[募集期間]

2024年7月1日～9月30日

[募集方法]

募集告知： キャンパスベンチャーグランプリ公式サイト、公式X、日刊工業新聞
エントリー：専用サイト

[エントリー数]

30大学、3大学院 合計101件

亜細亜大学	開志専門職大学	鎌倉女子大学
共愛学園前橋国際大学	慶應義塾大学	國學院大學
駒澤大学	信州大学	創価大学
大東文化大学	中央大学	津田塾大学
帝京大学	東京大学	東京経済大学
東京電機大学	東京都立大学	東京農工大学
東洋大学	長野大学	日本大学
一橋大学	文京学院大学	法政大学
明治大学	明星大学	横浜国立大学
横浜市立大学	立教大学	早稲田大学
筑波大学大学院	東京大学大学院	東京理科大学大学院

[予備審査]

審査期間：2024年10月2日～15日

審査方法：アドバイザーによるスクリーニング

[書類審査]

審査期間：2024年10月16日～22日

審査方法：セミファイナル審査会に進出する22組をピックアップ方式で選出

[セミファイナル審査会]

審査期間：2024年11月8日 日刊工業新聞本社（東京都中央区）

審査方法：ファイナル審査会に進出する10組をピックアップ方式で選出。

事前にチームのプレゼン動画（3分程度）を視聴した上で、各チーム1分間のピッチ後に5分間のヒアリング

[ファイナル審査会]

審査期間：2024年12月9日 霞山会館（東京都・霞ヶ関）

審査方法：5分間のプレゼンテーションと5分間のヒアリング。

「新規・創造性」「事業・市場性」「社会・今日性」「表現力」の4項目の採点を基にした定量評価、審議による定性評価を合わせた総合評価により各賞を決定。



審査講評

第21回東京大会も激戦となった。総数が100を超える応募から、セミファイナルを経てファイナリストに選出された10チームはすべて粒ぞろいで、事業化提案は「革新性」「独創性」に富んでおり、荒削りな原石の中にキラリと光るものを感じた。今回のファイナル審査会も、若き起業家たちの熱い思いに直に触れることができ、すべての提案が創造性にあふれ説得力があり、学生たちの頼もしさに感動した。

大賞に輝いたのは筑波大学大学院の古澤美典さんの「仮眠支援ロボット『ナップ』」。博士課程在学中の古澤さんは、ロボコン世界大会「RoboMaster」の日本代表選手としての経験を持ち、本事業の仮眠支援ロボットの考案・発明者。研究者ならではの理論に基づき、仕事の現場における仮眠のパワーを生産性向上につなげたいとする思いがプレゼンを通じて強く打ち出され、その説得力に圧倒された。

関東経済産業局長賞は信州大学の瀬戸晴登さんの「宇宙探査ローバのモジュール開発『Astro Pioneer』」。火星探査機の開発を推進する信州大学など四つの国と地域の大学生でつくる団体「KARURA(カルラ)」で、瀬戸さんは日本チームリーダーをつとめている。「宇宙」は世界の多くのスタートアップが取り組む一大テーマとなっており、火星探査という長期のテーマ・夢を追いながらも、短中期的には、現在開発中のローバの技術を地球における他の事業領域に活用することで経済的価値を担保するという起業家としてのしたたかさを感じた。

新型コロナ禍を経験した学生の、積もる思いとエネルギーが込められたプレゼンにたいへん感動した。社会課題の解決に向け、ユニークな着眼点からの事業化提案は例外なくすべて大きなポテンシャルを持っている。CVGが全国的な学生ビジネスプランコンテストとして、学生の起業家魂に火を付け、若手起業家の登竜門としての位置づけをますます強いものにしていることをなお一層強く感じた今回の東京大会だった。



審査委員長 各務茂夫

受賞者一覧

受賞内容	氏名	大学名	チーム名	プラン名
大賞	古澤 美典	筑波大学大学院	やさしいロボット 研究所	仮眠支援ロボット 『ナップ』
関東経済産業局長賞	瀬戸 晴登	信州大学	*****	宇宙探査ローバのモジュール開発 「Astro Pioneer」
優秀賞	早川 洸海	東京大学大学院	*****	介護従事者も私たちが 幸せな世の中の実現
優秀賞	政近 怜汰	東京農工大学	*****	プログラミング教材 「ぶろっコード」
	大森 俊弥			
りそな銀行賞	加藤 憧	早稲田大学	株式会社アルテム	日本文化を世界へ！ オーガニック抹茶ブランドの 越境EC事業
ストライク賞	川邑 直央	慶應義塾大学	*****	御朱印ロード
MIT賞	清水 陽向	明星大学	*****	日本の工芸品、 ハンドメイド品を世界へ。 販売と支援を一体化。
	長尾 亮佑			
	池原 大智			
	小黒 慈深			
日刊工業新聞社賞	伊藤 大陽	東京都立大学	DoOK	選書SNS ～ネット書店を選書の社会基盤に～
奨励賞	高橋 花	創価大学	打ち上げは ガトーショコラで	Webサイト 「まっさらキャンパス」
	赤西 のどか			
	飯島 伸治			
	佐藤 嵩悟			
奨励賞	齋田 りお	開志専門職大学	*****	ボイマ 「漫画家の卵×声優の卵で 形作るボイス漫画サービス」

大 賞

筑波大学大学院 古澤 美典

仮眠支援ロボット『ナップ』



喜びの声:この度は、大賞という名誉ある賞をいただくことになり、大変感謝しております。仮眠支援ロボット「ナップ」の研究開発は、多くの方の協力により成り立っております。これまでご協力いただいた皆様、今回審査に関わってくださった皆様に感謝申し上げます。睡眠という社会課題に対し、不眠症当事者である自分ができることを考えた時、これまでロボコン等で培ってきた技術力を研究で活かそうと考えたのが始まりでした。研究開発を始めてみると、想定以上に多くの方が眠りに悩みを抱えている様子でした。これからはナップを通して、睡眠という課題と向き合いながら、そして何よりも楽しみながら研究開発を進めていきたいと考えています。

関東経済産業局長賞

信州大学 瀬戸 晴登

宇宙探査ローバのモジュール開発
「Astro Pioneer」



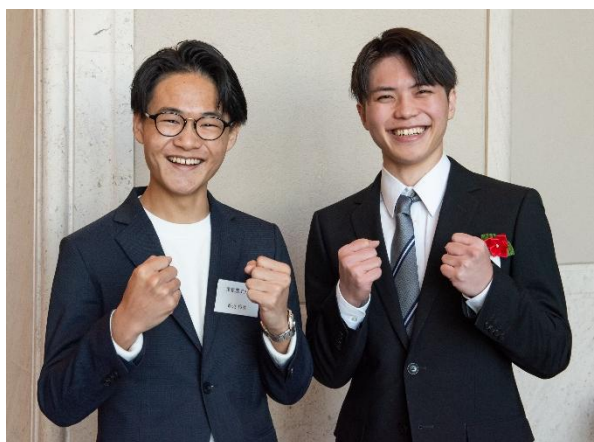
喜びの声:このたびは関東産業経済局長賞をいただき、ありがとうございます。私は普段、宇宙でロボットが活躍する世界、月面・火星が産業フィールドとなることを目指し、様々な活動を行っています。そのような中で今回の賞を頂きましたこと大変光栄に思います。さて、今回は宇宙探査ローバ開発の中でも地質調査に注目したビジネスモデルを発表させて頂きました。本受賞にあたり応援いただいた方々、ビジネスモデルを考えるきっかけを与えていただいた学生団体KARURAに感謝いたします。全国大会でも宇宙開発の必要性和地球から宇宙へつながるビジネスモデルを広く伝えてまいります。引き続きの応援をよろしくお願いいたします。

優秀賞

東京大学大学院 早川 洸海
介護従事者も私たちも幸せな世の中の実現



東京農工大学 政近 怜汰
プログラミング教材「ぶろっコード」



りそな銀行賞

早稲田大学 加藤 憧

日本文化を世界へ！
オーガニック抹茶ブランドの越境EC事業



ストライク賞

慶應義塾大学 川邑 直央

御朱印ロード



MIT 賞

明星大学 清水 陽向
日本の工芸品、ハンドメイド品を世界へ。
販売と支援を一体化。



日刊工業新聞社賞

東京都立大学 伊藤 大陽
選書SNS
～ネット書店を選書の社会基盤に～



奨励賞

開志専門職大学 齋田 りお

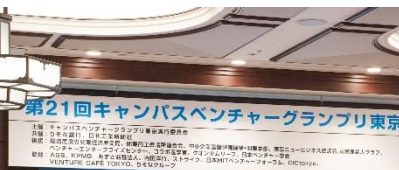
創価大学 高橋 花

ボイマ

Webサイト

「漫画家の卵×声優の卵で
形作るボイス漫画サービス」

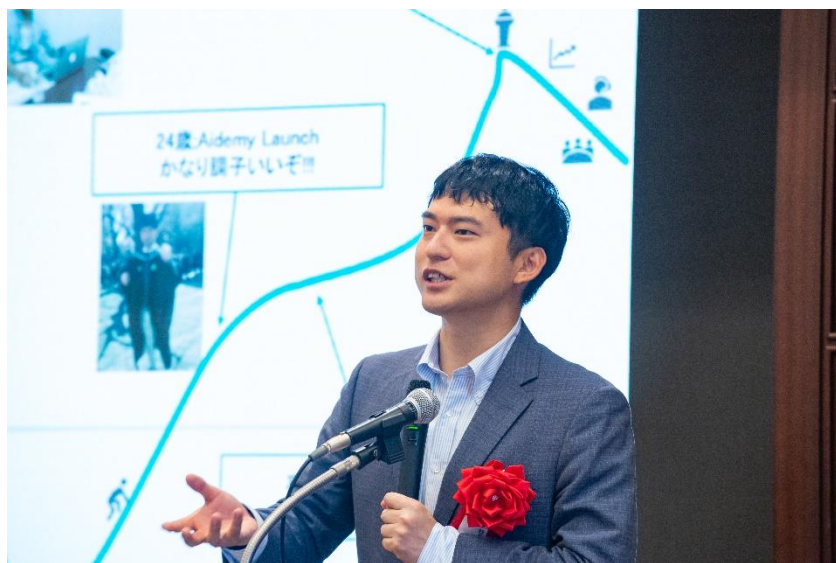
「まっさらキャンパス」



特別講演

講演テーマ：大学3年で起業、30歳で上場『格闘と挑戦』

講師：株式会社アイデミー 代表取締役社長 石川聡彦氏



アイデミーは人工知能(AI)やデジタル変革(DX)に関する人材育成およびソリューション事業が主力事業。石川聡彦社長は東京大学工学部の3年生だった2014年に起業し、15年の第12回CVG東京大会で優秀賞を受賞した。その後は事業内容を変えながら業容を拡大し、23年6月に東証グロース市場に上場。

略歴：1992年生まれ。神奈川県横浜市出身。小学生時代に歌舞伎子役として6年間活動後、引退。東京大学に進学し、工学部在学中の2014年に株式会社アイデミーを創業し代表取締役社長に就任。



キャンパスベンチャー グランプリ

応募期間
2024.7/1(月)～9/30(月)

CVG

cvg -2024

表 彰

大 賞	賞状と賞金 100万円 (1件)
関東経済産業局長賞	賞状と賞金 25万円 (1件)
優秀賞	賞状と賞金 20万円 (1~2件)
りそな銀行賞	賞状と賞金 10万円 (1件)
ストライク賞	賞状と賞金 10万円 (1件)
日刊工業新聞社賞	賞状と賞金 10万円 (1件)
奨励賞	賞状と賞金 5万円 (数件)

関東甲信越・静岡の学生によるビジネスプランコンテスト

詳しい応募方法や今後のスケジュール、審査委員、過去の受賞者などを随時公開します

<https://cvg.nikkan.co.jp>



応募される方、起業家などの
サポート情報を随時更新



主催 キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)東京実行委員会 共催 りそなグループ(りそな銀行 埼玉りそな銀行)／日刊工業新聞社

後援 経済産業省関東経済産業局／関東商工会議所連合会／中小企業基盤整備機構関東本部／東京ニュービジネス協議会／東京産業人クラブ／ベンチャーエンタープライズセンター(VBC)／コロポ産学官／クオントムリブ／日本ベンチャー学会



(50音順)



KPMG
あずさ監査法人



内田洋行



ストライク



日本MIT
ベンチャーフォーラム



りそなグループ



ベンチャーカフェ
東京



cic Tokyo





キャンパスベンチャーグランプリ東京 実行委員会
事務局〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
日刊工業新聞社日刊工業産業研究所
TEL:03-5644-7113 Fax:03-5644-7294
URL <https://cvg.nikkan.co.jp/>

